

## ◎佐賀県小学校教育研究会理科部会（県小理）の歴史

昭和61年 (1986年)	7名の教師が佐賀県版理科ノートを編集し、理科教育振興会・小学校教育研究会理科部会に託し発行した。
昭和62年	小学校教育研究会理科部会に編集委員会を設け原著作者を編集委員に委嘱した。また、編集協力委員を各地区支部長の推薦を経て委嘱した。
平成元年 (1989年)	編集委員会を研究部と改めた。また、編集委員を常任委員、編集協力委員を研究委員とし、事業内容を理科ノートの研究から理科教育研究全般へと拡張した。編集委員会を研究部研修会とし、講演の機会を設けた。
平成3年	研究委員の推薦方法を支部推薦から常任委員推薦へと変更した。研究部研修会を年2回開催することにし、常任委員・研究委員の研究発表及び各支部の活動状況の報告を行うこととした。研修会の成果は「理科の研究（教師編）」として集録し、県内各小学校に配布した。
平成4年	「佐賀県理科マップ」（B4）を作成し、「県版理科ノート」教師編に添付し県内に配布した。 冬の研究部研修大会には、支部長及び支部事務局長にも出席を依頼し、研究部の活動に理解を得ることとした。研究部内資料として県内自然情報資料集を作成した。
平成5年	県内自然情報資料集を「佐賀県理科マップ資料集」として編集し直し、県内各小学校に配布した。（部内印刷） 第1回県小理大会の企画を常任委員会で言い、支部長会の賛同を得て準備に入った。
平成6年	研究部に顧問を設けた。また研究部副部長（県大会担当、研究担当）を新設した常任委員が実行委員となり、第1回県大会を多良小学校で開催した。
平成8年	第2回県大会を三神地区の三養基郡が担当して開催した。（研究部は後方支援） 「佐賀県理科マップ」を再編集し、教室掲示用（A2）として全小学校に配布した。
平成9年	九州地区理科教育研究大会（佐賀大会）を佐賀市で開催した。 佐賀大会の開催記念として「世紀を越えて」を刊行した。（研究部編集）
平成10年	佐賀県理科マップのインターネット版として「たんけん佐賀」を開設する。
平成11年	川上小学校、三日月小学校と総合的な学習に関わる共同研究を行なった。研究部部員で資料を持ち寄り、実験集録「おもしろ実験玉手箱」を作成した。「支部別理科情報カレンダー」（B4）を作成し、「県版理科ノート」教師編に添付し、平成12年に県内に配布した。「自由研究の手引き」（B4）を作成し、「県版理科ノート」に添付し県内に配布した。（配布はH12年）実験収録「おもしろ実験玉手箱」を作成し、県内に配布した。教師向けワークショップに県小理ホームページを開設する。
平成12年 (2000年)	第4回県大会を武雄・杵島支部が担当して開催した。（研究部は後方支援） 「指導法開発プロジェクト」（単元箱、薬品、素朴概念、課題選択学習、ハイパー指導案、ハイパー実践記録、広報活動）による理科学習指導法の研究を発足する。「理数系教科群」の指導法改善を図るため、赤松小学校との共同研究を行った。

平成13年	「指導法開発プロジェクト」に、「実験器具使用の手引き」と「授業で役立つものづくり」が追加し「素朴概念」が完結する。理科マップカレンダーを県版理科ノートグラビアへ移行。
平成14年	県中理との連携として「平成15年佐賀県中学校理科教育研究大会」に常任委員が数名参加した。
平成15年	第5回県大会を唐津・東松浦支部が担当して開催した（研究部は後方支援）。九理教佐賀大会に向けての準備，県小理研究部がすすめる理科授業についての研究に取りかかる。
平成16年	「指導法開発プロジェクト」の成果を活用した「県小理研究部がすすめる理科授業」を研究委員と協力して，各学年1単元を実践する。実践記録をWeb化して保存（支部長，研究委員への配布）する。 第2回研究部研究会において授業研究会（多久市緑が丘小学校 第4学年 授業者本村教諭）を行い，「指導方法開発プロジェクト」を活用した「県小理研究部がすすめる理科授業」を提案する。九理教佐賀大会に向けての準備に着手。
平成17年 (2005年)	九州地区理科教育研究大会（佐賀大会）を伊万里市で開催した。 九理教佐賀大会での授業，研究発表の概要及び研究委員のレポートを集約し，「理科の研究《教師編》」にまとめた。 九教研倒産のため全教科等研究出版より，県版理科ノートを新たに刊行した。
平成18年	第6回県大会を多久支部が担当して開催した（研究部は後方支援）。 大会では，地域性を生かした理科教材のパネル展示を行った。また，県大会での授業及び研究発表の概要を「理科の研究《教師編》」にまとめた。
平成19年	「観察・実験の視点や目的意識のもたせ方」を中心課題とし研究委員と協力して授業実践を行った。また，地域教材マニュアルを作成し，授業実践記録とともに「理科の研究《教師編》」にまとめた。
平成20年	「理科授業の構成要素，授業設計のポイントを探る」を中心課題とし，授業分析（附属小 平山教諭）をもとに理科授業に必要な構成要素を探り，研究委員と共に授業実践を行い実践報告・検討を行った。 また，地域教材活用マニュアルを作成・報告し，授業実践記録とともに「理科の研究《教師編》」にまとめた。
平成21年	「理科授業の構成要素，授業設計のポイントを検証する」を中心課題とし，授業分析（附属小 坂元教諭）を基に理科授業に必要な構成要素の共通理解を図り，研究委員と共に授業実践を行い報告・検討を行った。 また，生活と結びつけた素材の開発を作成・報告し，授業実践記録と共に「理科の研究《教師編》」にまとめた。
平成22年 (2010年)	「理科授業の構成要素，授業設計のポイントを検証する」を昨年度に続き中心課題とし，夏季研修会での模擬授業をもとに理科授業に必要な構成要素の共通理解を図った。 また，授業参観（日新小 横尾教諭）及び授業研究会を行った。常任委員並びに研究委員のレポートを集約し，「理科の研究《教師編》」にまとめた。

平成23年	<p>第8回県大会を鹿島・嬉野・多良支部が担当して開催した（研究部は後方支援）。4年生と6年生において、授業を公開した。</p> <p>また、県版理科ノートを使った授業参観（長松小 大久保教諭）及び授業研究会も行った。常任委員並びに研究委員のレポートを集約し、「理科の研究《教師編》」にまとめた。</p> <p>県版理科ノートの編集作業を行い、改訂を行った。</p>
平成24年	<p>九理教佐賀大会に向けての準備に着手。授業者や研究発表者の支援を行った。研究部研修会では、九理教前度研修会に参加をした。</p> <p>出版社を教育研究会に変更し、前年度改訂を行った。A4版とした県版理科ノートを発行した。</p> <p>ホームページをリニューアルし、より活用しやすくした。常任委員並びに研究委員のレポートを集約し、「理科の研究〈教師編〉」にまとめた。</p>
平成25年	<p>九州地区理科教育研究大会佐賀大会を鳥栖市で開催した。</p> <p>大会に向けて、昨年から引き続いて、授業者や研究発表者の支援を行った。研究部研修会を3回実施し、2回目は九理教大会に参加をした。常任委員並びに研究委員のレポートや九理教大会の概要等を集約し、「理科の研究〈教師編〉」にまとめた。</p>
平成26年	<p>次年度の教科書改訂に伴い、県版理科学習ノートの編集作業を行った。</p> <p>研究部研修会を2回実施した。平成25年度「理科の研究（教師編）」を県内全ての小学校に配布した。常任委員並びに研究委員のレポートや九理教大会の概要等を集約し、「理科の研究〈教師編〉」にまとめた。</p>
平成27年 (2015年)	<p>第10回佐賀県小学校理科教育研究大会（佐賀市大会）を神野小学校で開催。3～6の各学年で授業公開と実践事例発表会を行った。研究部研修会を3回実施し、2回目は県大会に参加をした。常任委員並びに研究委員のレポートや九理教大会の概要等を集約し、「理科の研究〈教師編〉」にまとめた。</p>
平成28年	<p>研究部研修会において、常任委員及び研究委員の授業実践の協議内容を常任委員によるパネルディスカッションの形式を取って報告した。常任委員、研究委員の授業実践や九理教大会（鹿児島）での実践発表等を集約し、「理科の研究〈教師編〉」にまとめた。</p>
平成29年	<p>第11回佐賀県小学校理科教育研究大会（武雄・杵島大会）を福富小学校で開催。3～6の各学年で授業公開と実践事例発表会を行った。研究部研修会を3回実施し、2回目は県大会に参加した。常任委員並びに研究委員のレポート等を集約し、「理科の研究（教師編）」にまとめた。</p>
平成30年	<p>地域教材の再開発を行った。今後3年間を目安に地域教材の写真更新や資料更新を行う。「つける力」を明確にして授業実践を行い、実践発表・学年グループでの協議後、常任委員をパネリストにしてパネルディスカッションを行った。</p>
令和元年 (平成31年)	<p>第12回佐賀県小学校理科教育研究大会（小城・多久大会）を芦刈観欄校で開催。3～6の各学年で授業公開と実践事例発表会を行った。研究部研修会を3回実施し、2回目は県大会に参加した。常任委員並びに研究委員のレポート等を集約し、「理科の研究（教師編）」にまとめた。</p>